

知的障害者等の心理・生理・病理

科目ナンバリング SNE-206

選択 2単位

石川 政孝

1. 授業の概要(ねらい)

【選択科目】【特別支援教育に関する科目・特別支援教育領域に関する科目・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目】

障害児は、「子どもとしての心理的傾向と問題」と「障害に関する心理的傾向と問題」の2つの心理を持っていると考えられる。「障害に関する心理的傾向と問題」には、「障害に共通する心理的傾向と問題」と「障害に独自の心理的傾向と問題」の2つの種類がある。

「障害児(肢)の心理」では、肢体不自由児の心理についてその理解の方法と「障害児に共通する心理的傾向と問題」について論じられるが、本講義は、知的障害児を中心に肢体不自由児、病弱児、視覚障害児、聴覚障害児、発達障害児並びに言語障害児などの障害児の「障害に独自の心理的傾向と問題」に関する理解を養う。

なお、知的障害児の心理に関しては、心理特性に影響する障害の原因や脳の生理と病理について述べる。

2. 授業の到達目標

知的障害児、肢体不自由児、病弱児、視覚障害児、聴覚障害児、発達障害児並びに言語障害児について、それぞれの障害の定義・概念、分類、原因・症状、心理的特性について説明することができる。

障害児の「障害に独自の心理的傾向と問題」に関する理解を深め、支援のあり方について自分の意見を述べることができる。

また、脳の生理・病理について、脳各部の機能を説明することができる。

3. 成績評価の方法および基準

期末まとめ課題(50%の割合)と授業課題(50%の割合)を総合して評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

井澤信三他 『障害児心理入門』(2013) ミネルヴァ書房

参考文献

梅谷忠勇・堅田明義 『知的障害の心理学』 田研出版

5. 準備学修の内容

授業で触れる各障害についてのテキストをよく読んで、基本的な知識をもって授業に参加すること。

6. その他履修上の注意事項

前提条件として履修すべき科目:「障害者(肢)の心理」(春学期)

障害児理解のための観察者の視点、対話者の視点及び共感者の視点をもってほしい。

7. 授業内容

【第1回】 オリエンテーション、授業の目的、内容、進め方、評価方法、参考書等について

【第2回】 「知的障害児を中心とした障害児の独自の心理的傾向と問題」

1.知的障害児

(1)知的障害児の心理的傾向と問題①

知的障害の定義・概念

【第3回】 (2)知的障害児の心理的傾向と問題②

脳の生理と病理

【第4回】 (3)知的障害児の心理的傾向と問題③

知的障害児の分類と原因・症状

【第5回】 (4)知的障害児の心理的傾向と問題④

知的障害児の心理的特性について

【第6回】 (5)知的障害児の心理的傾向と問題⑤

知的障害児の心理的援助について

【第7回】 2.肢体不自由児

(1)肢体不自由児の心理的傾向と問題①

脳性まひ児の知的機能と行動特性

【第8回】 (2)肢体不自由児の心理的傾向と問題②

筋疾患・脊椎疾患の肢体不自由児の心理特性と支援

【第9回】 3.病弱児

病弱児の心理的傾向と問題

入院と病弱児の心理

【第10回】 4.視覚障害児

視覚障害児の心理的傾向と問題

聴覚による手がかりと障害物知覚など

【第11回】 5.聴覚障害児

聴覚障害児の心理的傾向と問題

聴覚障害児のパーソナリティなど

【第12回】 6.その他の障害児

(1)発達障害児の心理的傾向と問題①

自閉症スペクトラム障害

【第13回】 (2)発達障害児の心理的傾向と問題②

学習障害と注意欠陥・多動性障害

【第14回】 (3)言語障害児の心理的傾向と問題

言語障害児の心理特性

【第15回】 授業の振り返りとまとめ 期末まとめ課題